

## 就労継続 B 型事業所の利用者を対象とした横断調査の分析

研究分担者： 山口創生

1) 所属先（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域・司法精神医療研究部）

### 要旨

本分担班は、就労継続 B 型事業所（以下、B 型事業所）の利用者における工賃や収入、働きがいに関する実態を検証することを目的とした。具体的には、37 の B 型事業所における利用者（n=326）を対象とした横断調査データを分析し、記述統計を示し、働きがいと工賃や総収入に関する充足感などとの関連を検証した。調査の結果、回答者は、現在の活動日数などに不満を持つことは多くないが、現在の工賃額や総収入に対して満足していないことが明らかになった。回答者の工賃に関して、10,000～15,000 円未満（20.8%）の金額帯の割合が最も多く、希望する工賃額として最も多い金額帯は、30,000～45,000 円未満であった（22.5%）。すなわち、現実の工賃額と希望の工賃額の差は約 20,000 円ほどであった。また、工賃に直接関係しない質問項目も含め全体的な回答傾向として、ステップアップや最低賃金を得る活動への関心、経済的支援の必要性など、収入や経済的な問題についての回答割合が高いことが特徴であった。特に働きがいについては、B 型事業所における工賃の高低といより、総収入に対する充足感が強く関連していた（ $B = 0.140, 95\%CI = 0.044, 0.236, P = 0.004$ ）。調査結果から、B 型事業所と就労移行支援事業所などの併用や B 型事業所の通所と一般企業での就労の両立など、B 型事業所に通所しながらステップアップが可能なシステムの整備が必要となると示唆された。

### A.研究の背景と目的

地域における精神障害ケアにおいて生産活動への参加の援助は、重要な支援要素である。生産活動への参加の形は一般企業での就職だけでなく、保護的な就労、ボランティアなど様々な形で存在する（山口ら, 2021）。日本では歴史的に、小規模作業所や授産施設が精神障害のある利用者（以下、利用者）に、生産活動の機会と居場所を提供してきた（山岡, 1998）。小規模作業所や授産施設が担ってきたこれらの機能は、障害者総合支援法の成立以降、就労継続 B 型事業所（以下、B 型事業所）に受け継がれている（池田, 2018）。実際、B 型事業所は一定のニーズがあり、その数は年々

増加し、2017 年度には約 11,000 に到達している（厚生労働省, 2018; 2020）。すなわち、B 型事業所は、現在も地域精神障害ケアにおける中心的な役割を担っており、利用者の生産活動の場の一つとなっている。

利用者に生産活動を提供する B 型事業所が国内に数多く存在する一方で、B 型事業所の支援内容は多様である。支援の目的あるいは役割には生産活動の機会の提供だけでなく、居場所や仲間との交流の機会、創作活動やレクリエーションの機会を提供する事業所も珍しくない（山口, 2020）。実際、全国精神障害者地域生活支援協議会（2020）の調査によれば、工賃に代表される生産活動のみを重視している B 型事業所は約 5%に留まっている。

すなわち、B 型事業所は、生産活動の支援と並行して、日中活動を支援する役割も持っているといえる。

B 型事業所が利用者のニーズに対応するために多様な役割を持つ一方で、B 型事業所は工賃に関する問題を指摘され続けている。厚生労働省の調査によると、2018 年度の就労継続 B 型の平均工賃は、16,118 円であった（厚生労働省, 2019）。過去、国あるいは行政は、工賃倍増 5 ヵ年計画など B 型事業所の工賃に関する支援施策を打ち出してきた。また、2018 年 4 月からは、利用者が受け取る平均工賃によって B 型事業所の報酬単価が変化するという新制度も導入された。他方、これらの取り組みによって工賃が大幅に改善されたわけではない（岡本, 2016）。よって、B 型事業所の工賃の課題は、現在進行形の問題といえる。

B 型事業所の低い工賃額は長年の問題であるが、前述のように B 型事業所には生産活動の支援以外の役割も有している。一方で、工賃や支援内容に関する利用者の視点を数量的に評価した研究は決して多くない。数少ない先行研究の一つとして、全国精神障害者地域生活支援協議会（2020）が、2019 年に実施した大規模調査があげられる。同調査は、利用者の工賃やサービス満足度、支援への主観的評価などの項目を調べ、B 型事業所の工賃と利用者のサービス満足度との間に必ずしも関連がないことを報告している。他方、同調査は、工賃額とサービス満足度を比較しているため、そもそも利用者の現在の工賃や収入に満足しているか、あるいは利用者が普段どのような生活をしているかなどの実態については、その知見から推量することが難しい。すなわち、利用者が B 型事業所の支援や活動を、彼らの生活にどのように位置付けているかについては未だ不明瞭なままとなっている。

上述の課題から、本研究は B 型事業所の利用者を対象とした調査を通して、彼らが現在の工賃や収入、今後の就労、支援内容や日々

の生活についてどのように考えているかなどについて調べることを目的とした。B 型事業所の工賃や支援、事業所を日常的に利用する生活についての利用者自身の捉え方の実態把握は、今後の B 型事業所の方向性を決めるうえでも重要な資料となると予想される。

## B.方法

### 1. 基本デザイン

本研究は、B 型事業所の利用者を対象とした横断調査であった。対象となった事業所に質問紙票を郵送し、各事業所の利用者に調査票への回答を依頼した。調査期間は 2021 年 1 月 6 日から 2 月 13 日であった。本調査は筑波大学研究倫理委員会の承認を得て実施された（課題番号第東 2020-82 号）。

### 2. 対象機関

本研究は、精神障害のある利用者の多い B 型事業所を選定するために、全国社会就労センター協議会（セルプ協）および東京都精神障害者就労系事業所連絡会（じゅさん連）の協力を得た。具体的には、両団体から、精神障害のある利用者が多いと推測される B 型事業所について紹介を得た。

セルプ協からは 72 事業所が紹介されたが、各事業所の利用者数が不明であることから、各事業所に 20 部の調査票を郵送した（合計 1,440 部）。じゅさん連からは 21 事業所における 687 名の紹介を得た。これらの事業所のうち、4 事業所については、就労継続 A 型に事業形態を移行するなどの理由で、調査票の郵送前に調査協力を断られた。最終的な調査票の有効発送数は、37 事業所 1,972 部であった。

### 3. 調査票の質問項目

#### 1) 質問紙票の作成および選定過程

本調査は、B 型事業所の現状について、利用者視点の実態を把握することを目的としている。研究目的に即した項目を作成・設定す

るために、前年度における面接調査及び郵送調査結果を踏まえたものとした。具体的には、前年度郵送調査により B 型事業者支援者から有効と判断されたプログラム項目 27 項目のうち、特に有効と判断された 8 項目に絞り、今年度の調査票に組み入れた。また、面接調査結果から抽出した B 型事業所における働きがい関連項目の他に、B 型事業所利用を含めた地域参加活動の実態を把握するために、精神障害者地域参加活動尺度日本語版 (TUCP II-J) を開発し、これを調査内容の項目として加えた。

最終的な調査票の項目は、①性別や年齢などの基本属性、②事業所利用日数に関連する質問、③工賃に関連する質問、④収入に関する質問、⑤事業所での働きがいやステップアップに関する質問、⑥事業所に行きたくない日の理由に関する質問、⑦日常生活で笑う時に関する質問、⑧B 型事業所の支援の中で効果が期待できる支援内容に関する質問、⑨B 型事業所で働きがいを感じる時に関する質問、⑩仕事以外で希望することに関する質問、⑪特定の支援内容についての希望に関する質問、⑫日常的な活動に関連する質問、⑬家族や子どもとの活動に関する質問で構成された。このうち、⑬家庭や子どもとの活動に関する質問は回答者が少なかったことから、本分担報告書は分析対象項目から除外した。

#### 4. 分析

本分担報告書は、各項目の記述統計を算出した。カテゴリカル変数については、度数と割合を示した。また、連続変数については、平均値と標準偏差あるいは中央値と四分位偏差を適宜算出した。次に、働きがいを目的変数とし、月額工賃の金額帯、工賃への感想 (4 段階評価)、月額の自由に使えるお金の金額帯、総収入の経済的な充足感 (4 段階評価) を仮説変数として、 $\chi^2$  検定を用いた単変量解析をそれぞれ実施した。さらに、上記 4 つの仮説変

数とその他の調整変数 (B 型事業所の利用日数、性別、年齢) を同時投入した一般化線形モデルを実施した。最後に、総収入の経済的な充足感をアウトカムとステップアップとの関連をみるために、 $\chi^2$  検定を実施した。全ての分析には Stata version.16 を用いた。

#### C. 結果

##### 1) 回収状況と基本属性

郵送された調査票 (37 事業所, 1,972 部)のうち、回収できた調査票数は 326 件であった (有効回収率: 16.5%)。従って、本研究は 326 名からの回答を分析対象とした。基本属性について、回答者の約 60% が男性であった。最も割合の多い年齢層は 50 代 (28.6%) であり、続いて 40 代 (26.8%) であった (表 1)。

##### 2) 事業所利用日数と関連する質問

表 2 は工賃に関する質問の回答結果を示している。回答者の半数以上が月当たり 16 日以上 B 型事業所を利用していた。利用日数について「ふつう」とした回答者は全体の約 80% であり、利用日数の増加希望について「そう思う」とした者は全体の 20% 以下であった。

##### 3) 工賃と関連する質問

現在の月額工賃について、工賃額 2 万以下とした回答者は全体の約 75% であった (表 3)。工賃額については、10,000~15,000 円未満 (20.8%) の金額帯の割合が最も多く、次いで 5,000~10,000 円未満 (20.5%) であった。現在の工賃の感想について「ふつう」と回答し者は 39.9% が最も多かったが、「少ない」「少なすぎる」と回答する者を合わせると全体の半数以上となった。加えて、工賃向上の希望について、「ややそう思う」「そう思う」を合わせると、80% 以上となった。希望する工賃の平均額は 35,090.6 円 (SD=34,559.1) であった。また、希望する工賃額として最も多い金額帯は、30,000~45,000 円未満であり (22.5%)、次いで

45,000～10,000 円未満であった (22.1%)。

#### 4) 収入に関する質問

総収入についての経済的な充足感は、「全く足りない」(21.5%)、「あまり足りない」(33.6%)、「やや足りている」(25.2%)、「足りている」(19.6%)であった(表4)。生活の中で自由に使えるお金の平均額は 18,131.2 円 (SD = 18,145.5) であり、最も多い金額帯は 10,000～15,000 円未満 (21.1%) であった。また、10,000 円から 25,000 円未満の金額帯が全体の約 65% を占めた。

#### 5) B 型事業所での働きがいやステップアップに関する質問

回答者の約半数が B 型事業所での活動に対して働きがい「ある」としていた(表5)。他方、A 型事業所や就労移行支援事業所、一般雇用でのステップアップの希望について、回答者の約半数が「やや希望する」「希望する」としていた。同様に、一般企業での就職に対する関心や最低賃金以上の仕事に対する関心について、回答者の約半数が「ややある」「ある」としていた。

#### 6) B 型事業所に行きたくない日の理由に関する質問

回答の中で「とてもそう思う」の割合が最も多い理由は体調が優れない時 (40.6%) であり、次いで朝起きられないような時 (21.6%) であった。なお、工賃の低さを行きたくない理由として「とてもそう思う」とした者は 20% 以下であった(表6)。

#### 7) 日常生活で笑う時に関する質問

表7は利用者が日常生活の中で笑うとするイベントについての回答を示している。「笑う」という回答が全体の 40%以上であったイベントは、面白い話を聞いた時、見た時 (58.7%)、親しい友人や恋人と一緒にいる時 (47.0%)、

プレゼントを貰った時 (42.1%)、良い知らせを聞いた時 (41.8%)、何かがうまくいった時 (40.7%) であった。

#### 8) B 型事業所の支援の中で効果が期待できる支援内容に関する質問

B 型事業所で受けている支援の中で、効果を期待できるとした支援内容について、「期待できる」の回答割合が最も多かった内容は、作業時間が長時間とならないように適宜、休憩を入れる (42.4%) であり、次いで利用者支援者が、一緒に作業を行う (42.1%) であった(表8)。作業の速さと量を、体調にあわせて調整する、寛容で協力的な職場風土を作るなどの支援内容も「期待できる」とする回答が 40%を超えていた。

#### 9) B 型事業所で働きがいを感じる時に関する質問

表9はB型事業所の活動の中で、利用者が働きがいを感じるイベントについての回答を示している。「働きがいを感じる」とする回答が 60%以上となった項目は、収入を多く得た時 (65.5%) と仕事を褒められた時 (61.4%) であった。

#### 10) 仕事以外で希望することに関する質問

回答者が仕事以外で希望することの回答として、「とても希望する」の割合が最も多い項目は、趣味や特技をもっと身につけたい (38.1%) であった。また、偏見なくふつうに自然に接して欲しい (36.1%)、なんでも話せる人にそばにいて欲しい (35.1%)、もっと色々なことを勉強したい (35.1%) の項目においても、「とても希望する」の回答が 35%以上であった。

#### 11) 特定の支援内容についての希望に関する質問

回答者が希望する特定の支援内容として、

「とても希望する」の回答割合が最も高い支援内容は経済支援(36.1%)であった。次いで回答割合が高い項目は、一般雇用支援であり、「とても希望する」の回答割合が30%を超えていた。

#### 12) 日常的な活動に関連する質問

表12は、27の日常的な生活イベントについての重要度や支援者との活動日数(過去30日間)、活動の頻度についての回答を示している。活動の重要度として、最も回答割合が多い項目は楽しみを兼ねてスーパー、コンビニ、ショッピングセンター、デパート、他の小売店、バザー等に行くこと(84.3%)であり、次いで賃金の支払われる仕事をするのであった(84.1%)であった。これらの活動については、支援者との活動日数も多かった。支援者との活動日数については、公共交通機関を使うことも回答割合が比較的多い生活イベントであった。逆に、活動頻度については、上記3つ項目以外に、活動の頻度を「十分」とする回答の割合が70%を超える生活イベントはなかった。

13) B型事業所における働きがいと経済状況  
B型事業所における働きがいと4つの経済状況の単変量解析の結果、工賃への感想( $\chi^2=37.011, P<0.001$ )、総収入に対する感想( $\chi^2=28.079, P=0.001$ )、自由に使えるお金( $\chi^2=72.294, P<0.001$ )が、働きがいと関連していた。表14は、働きがいに関連する経済的状況を探的に検証した一般線形モデルの結果を示している。分析の結果、働きがいと有意に関連する変数は、総収入の経済的な充足感( $B=0.140, 95\%CI=0.044, 0.236, P=0.004$ )であった。他方、工賃や工賃に対する感想と働きがいとの間に統計的な有意差は観察されなかった。加えて、総収入の経済的な充足感をアウトカムとした $\chi^2$ 検定の結果、総収入の経済的な充足感、ステップアップの希望(18.074,

$P=0.034$ )、一般企業での就労への関心( $\chi^2=35.600, P<0.001$ )、最低賃金以上の就労への関心( $\chi^2=30.836, P<0.001$ )とそれぞれ有意に関連していた。

#### D. 考察

本研究は、B型事業所の利用者を対象とした横断調査を実施し、利用者自身がB型事業所での活動や工賃、収集、支援内容、日々の生活をどのように考えているかについての実態を調査した。調査の結果、回答者は現在の活動日数などに不満を持つことは多くないが、現在の工賃額や総収入に対して満足していないことも明らかになった。また、工賃に直接関係しない質問項目も含め全体的な回答傾向として、ステップアップや最低賃金を得る活動への関心、経済的支援の必要性など、収入や経済的な問題についての回答割合が高いことが特徴であった。そこで、本報告では、過去の研究を参照しながら、工賃や総収入、ステップアップを鑑みたB型事業所の役割を考察する。

##### 1) 本調査の工賃額や収入額の妥当性

本調査の有効回収率は高くないため、本調査の工賃額や収入額の妥当性については、他調査と比較する必要がある。本調査の回答者の3/4は月額工賃額が2万以下であり、最も多い回答が多かった金額帯は10,000~15,000円未満であった。全国精神障害者地域生活支援協議会(2020)の調査においても最も多い工賃額帯は8,700~15,000円であり、本調査の結果と同様といえる。厚生労働省(2019)によると、2018年度の全国の就労継続B型の平均工賃額は16,118円(中央値は約10,000円)であった。精神障害のある利用者の工賃は、他障害と比較し少ない傾向にあることから(山口, 2020)、精神障害のある利用者の全国の平均工賃額は厚生労働省のデータをより低いと想定できる。よって、本調査の工賃に関する回答

結果は一定の妥当性があると考えられる。

本調査では、回答者の約半数が現状の工賃や総収入について満足していたわけではなかった。また日常生活で笑うイベントとして賃金をもらった時は上位のイベントには入っていなかった。実際、希望する工賃の金額帯として最も多い回答は、30,000～45,000 未満であり、実際の工賃の金額帯で最も多い回答（10,000～15,000 円未満）とは 2 万円の差があった。総収入額について直接問う質問項目はないが、自由に使えるお金の平均額が約 18,000 円であった。一般企業に勤めるサラリーマンが自由に使えるお小遣いの平均額は約 40,000 円と報告されている（新生銀行グループ, 2020）。婚姻率や子どもの人数、その他の社会的背景が異なるため、本調査の結果とサラリーマンの結果との直接的な比較は不可能であるが、自由に使えるお金の額には約 20,000 円の差がある。工賃や総収入に関する回答や他の調査の比較を鑑みると、回答者が現状の工賃や総収入について抱く不満は特異的なものではないといえるかもしれない。

## 2) 働きがいと工賃、総収入、ステップアップ

本調査では、回答者の多くが、利用日数に不満を持つわけではなく、効果的な支援内容を問う項目でも多くの項目で効果を期待していると判断していた。他方、回答者の約半数は B 型事業所での活動に対して働きがいがないとしており、また約半数は B 型事業所からのステップアップを希望していた。

これらの点については回答者の工賃と総収入という点からの考察ができる。工賃に関する各項目の回答内容を概観すると、B 型事業所に行きたくない日の理由として工賃の低さは上位の理由にはなっていなかった。また、多変量解析の結果は B 型事業所の工賃と働きがいとの間の関連を示さなかった。先行研究がサービス満足度と工賃額との間に関連がないと報告しているように（精神障害者地域生

活支援協議会, 2020）、B 型事業所の働きがいと工賃の間には大きな関連がない可能性がある。

働きがいを感じる特定の支援内容に目を向けると、収入を多く得た時に働きがいを感じるという利用者は 60%であったことから、工賃よりむしろ、全体の収入が働きがいを考えるうえで重要な要因の一つとして考えられる。実際、多変量解析の結果、はたらきがいの程度には、工賃に関する変数ではなく、年金なども併せた総収入に関する経済的な充足感の程度が関連していた。工賃額の向上を希望する者が多いにもかかわらず、工賃額が働きがいと関連しない背景には、工賃額が生活上のニーズを満たすには、極めて低いことが理由にあると考えられる。すなわち B 型事業所の工賃は向上されたとしても、単体で生活できるほどの額には至らないため、年金などを含めた総収入が働きがいにより強い関連を示す結果となったと考えられる。総収入が足りないと考えているほど、ステップアップを望む傾向にあることを明らかにした短変量解析の結果は、この解釈をサポートするものと考えられる。すなわち、回答者の半分以上は生活における経済的な問題を抱えており、日常的に収入の心配を抱えている利用者が、B 型事業所での働きがいを感じづらい状況にあり、ステップアップを希望する傾向にあるといえよう。

## 3) B 型事業所の役割と支援

B 型事業の役割は多様である。過去の調査を見ても、B 型事業所の支援者は、利用者の生産活動や工賃だけに焦点を当てるのではなく、生活支援を含めた多様な支援に取り組んでいる（山口, 2020; 精神障害者地域生活支援協議会, 2020）。また、本調査の回答者は、仕事以外に興味や特技を見つけないなどの希望を持っていることから、B 型事業所における支援の多様性は利用者ニーズが生まれている

と考えられる。しかしながら、本調査の回答者は重要度の高い活動として、賃金が支払われる活動を選択しており、実際に必要とする支援として上位にあげられた支援は、経済的支援や一般雇用支援であった。これらの結果を鑑みると、利用者の経済的ニーズに応える支援の提供はB型事業所にとって欠かせないものとなるであろう。

本調査の知見を考慮すると、B型事業所の経済的支援は、従来主として取り組まれてきた工賃の向上だけである必要はない。利用者のニーズに対応するという意味においては、一般企業での雇用を支援することも重要になると予想される。また、回答者の月当たりの工賃額と希望工賃額の差（約2万円）を埋めるためには、B型事業所の通所と一般企業での就労の両立やB型事業所の通所とステップアップ先の事業所の利用を併用できるシステムなどを整備することが必要となると示唆される。より柔軟雇用支援や経済支援を提供することで、利用者のニーズに沿いつつ、これまでのB型事業所の特徴をいかした支援が可能になると予想される。

### 3) 研究の長所と限界

本研究は2つの特徴を持つ。本研究の対象機関は37機関であり、ごく限られた機関の結果ではない。また分析対象者は300名を超えており、小規模の調査ではない。加えて、工賃や働きがいなどを包括的に調査しており、B型事業所利用者の多様な実態を明らかにすることができた。

本研究は多くの限界も抱えている。特に結果やその解釈に影響する問題として4点があげられる。第1に、代表性の問題があげられる。本研究の無作為に抽出されたものでない。また、回収数も多くないことから、本研究の結果は、全てのB型事業所の利用者の認識を反映していない可能性がある。第2に、本研究で使用した調査票の質問項目は、妥当性や

信頼性が検証されたものではない。よって、調査で得られた回答内容は必ずしも目的に沿ったものでない可能性もある。第3は横断調査の特性である。本調査は主たる目的をB型事業所利用者の実態解明としながらも、働きがいに関しては統計解析を行った。しかしながら、本調査は横断調査であることから、変数間の方向性を示せず、よって因果関係を実証することはできなかった。第4に、本研究が利用者の基本属性や障害程度に関する情報が少ないことがあげられる。働きがいや工賃、総収入などの鍵となる変数には、個別の利用者の特性なども強く影響していると考えられる。より正確な知見を得るためには、利用者個人の状態像などを調整する必要がある。上記4点は今後の調査の課題となると推察される。

#### E.健康危険情報

なし

#### F.研究発表

##### 1.論文発表

なし

##### 2.学会発表

なし

#### G. 知的財産権の出願・登録状況

##### 1.特許取得

なし

##### 2.実用新案登録

なし

##### 3.その他

なし

#### 文献

池田千登勢. (2018). 授産事業の経営における障害者就労支援B型事業所の課題と新規事業所に有効な支援に関する研究. *福祉のまちづくり研究*, 20, 21-32.

- 厚生労働省. (2018). *平成29年 社会福祉施設等調査の概況*. 東京: 厚生労働省.
- 厚生労働省. (2020). *平成30年 社会福祉施設等調査の概況*. 東京: 厚生労働省.
- 厚生労働省. (2019). *平成30年度工賃(賃金)の実績について*. 東京: 厚生労働省.
- 岡本友二. (2016). 障害者の福祉的就労における工賃のあり方をさぐる: 障害者就労支援施設「工賃倍増5か年計画」に関する考察をとおして. *佛教大学大学院紀要*, 44, 19-35.
- 新生銀行グループ. (2020). *2020年サラリーマンのお小遣い調査*. 東京: 新生銀行.
- 山口創生, 小川知子, & 三ツ井幸子. (2021). 社会人としてみられたいのですが: 社会とのかかわり. *Progress in Medicine*, 41(6). 印刷中.
- 山口創生. (2020). 就労継続B型事業所を対象とした横断調査の分析. 八重田淳編, *厚生労働省補助金 就労継続支援B型事業所における精神障害者等に対する支援の実態と効果的な支援プログラム開発に関する研究 令和元年度 総括・分担研究報告書*, 東京: 筑波大学.
- 山岡由美. (1998). 精神障害をもつ人々の一般就労をすすめるための考察: 共同作業所における就労援助を通じて. *職業リハビリテーション*, 11, 1-8.
- 全国精神障害者地域生活支援協議会. (2020). *精神障害者における就労継続支援B型事業実態調査報告書*. 東京: 全国精神障害者地域生活支援協議会

表 1 回答者の属性

項目	回答者数		n	%
性別	n = 326	男性	190	58.3
		女性	132	40.5
		その他	4	1.2
年齢	n = 325	20 歳代	32	9.9
		30 歳代	54	16.6
		40 歳代	87	26.8
		50 歳代	93	28.6
		60 歳代	46	14.2
		70 歳代以上	13	4.0
結婚	n = 278	現在、婚姻あり	22	7.9
		現在、婚姻なし	256	92.1
子どもの有無	n = 304	あり	35	11.51
		なし	269	88.49

表 2 事業所利用日数に関連する質問への回答

項目	回答者数		n	%
過去 30 日間の事業所利用日数	n = 322	0 日	2	0.6
		1-3 日	15	4.7
		4-6 日	23	7.1
		7-9 日	23	7.1
		10-12 日	40	12.4
		13-15 日	42	13.0
		16 日以上	177	55.0
利用日数の感想	n = 322	少な過ぎる	8	2.48
		少ない	48	14.91
		ふつう	248	77.02
		多い	17	5.28
		多過ぎる	1	0.31
利用日数の増加の希望	n = 322	全く思わない	45	13.98
		あまり思わない	127	39.44
		少しそう思う	91	28.26
		そう思う	59	18.32
できれば行きたくない曜日	n = 302	月曜	20	6.62
		火曜	12	3.97
		水曜	25	8.28
		木曜	13	4.3
		金曜	15	4.97
		特にない	217	71.85

表3 工賃に関連する質問への回答

項目	回答者数		n	%
月額工賃	n = 322	5,000 円未満	63	19.6
		5,000～10,000 円未満	66	20.5
		10,000～15,000 円未満	67	20.8
		15,000～20,000 円未満	44	13.7
		20,000～25,000 円未満	26	8.1
		25,000～30,000 円未満	21	6.52
		30,000～45,000 円未満	22	6.83
		45,000 円以上	13	4.04
工賃の感想	n = 323	少な過ぎる	51	15.8
		少ない	128	39.6
		ふつう	129	39.9
		多い	14	4.3
		多過ぎる	1	0.3
工賃向上の希望	n = 324	そう思わない	20	6.2
		あまり思わない	43	13.3
		ややそう思う	112	34.6
		そう思う	149	46.0
希望の月額工賃 (連続変数)	n = 276	平均値 (標準偏差)	35090.6	(34559.1)
		中央値 (四分位数範囲)	30000.0	(39000.0)
希望の月額工賃 (カテゴリカル変数)	n = 276	0 円	1	0.4
		～5,000 円未満	12	4.4
		～10,000 円未満	16	5.8
		～15,000 円未満	46	16.7
		～20,000 円未満	25	9.1
		～25,000 円未満	28	10.1
		～30,000 円未満	4	1.5
		～45,000 円未満	62	22.5
		～100,000 円未満	61	22.1
		100,000 円以上	21	7.6

表 4 収入に関する質問への回答

項目	回答者数		n	%
総収入に対する感想	n = 321	全く足りない	69	21.5
		あまり足りない	108	33.6
		やや足りている	81	25.2
		足りている	63	19.6
自由に使えるお金 (連続変数)	n = 298	平均値 (標準偏差)	18,131.2	(18145.5)
		中央値 (四分位数範囲)	12,000.0	(16000.0)
自由に使えるお金 (カテゴリカル変数)	n = 298	0円	11	3.7
		～5,000円未満	34	11.4
		～10,000円未満	45	15.1
		～15,000円未満	63	21.1
		～20,000円未満	33	11.1
		～25,000円未満	48	16.1
		～30,000円未満	35	11.7
		～45,000円未満	26	8.7
		～100,000円未満	2	0.7
		100,000円以上	1	0.3

表 5 事業所での働きがいやステップアップに関する質問への回答

項目	回答者数		n	%
B型事業所における働きがい	n = 324	ない	16	4.9
		あまりない	33	10.2
		少しはある	118	36.4
		ある	157	48.5
A型事業所、就労移行支援事業所、一般雇用へのステップアップ	n = 309	希望しない	96	31.1
		あまり希望しない	48	15.5
		やや希望する	81	26.2
		希望する	84	27.2
一般企業での就職に対する関心	n = 310	全くない	59	19.0
		あまりない	68	21.9
		ややある	112	36.1
		とてもある	71	22.9
最低賃金以上での仕事に対する関心	n = 310	全くない	36	11.6
		あまりない	64	20.7
		ややある	126	40.7
		とてもある	84	27.1

表 6 事業所に行きたくない日の理由に関する質問への回答

項目	回答者数	とてもそう思う		ややそう思う		あまりそう思わない		全くそう思わない	
	n	n	%	n	%	n	%	n	%
体調が優れない時	302	123	40.6	112	37.0	40	13.2	28	9.2
朝起きられないような時	301	65	21.6	93	30.9	68	22.6	75	24.9
人と会いたくない気分の時	301	52	17.3	82	27.2	93	30.9	74	24.6
天気が悪い時	301	39	13.0	91	30.2	79	26.3	92	30.6
工賃の低さを感じる時	301	49	16.3	73	24.3	95	31.6	84	27.9
自分の居場所がないように感じる時	298	51	17.1	64	21.5	81	27.2	102	34.2
認められたと感じない時	300	39	13.0	80	26.7	96	32.0	85	28.3
社会的意義を仕事に感じないような時	300	32	10.7	69	23.0	110	36.7	89	29.7
楽しいと思えない時	302	42	13.9	86	28.5	88	29.1	86	28.5

表 7 日常生活で笑う時に関する質問への回答

項目	回答者数 n	笑わない		あまり笑わない		少し笑う		笑う	
		n	%	n	%	n	%	n	%
良い知らせを聞いた時	306	15	4.9	35	11.4	128	41.8	128	41.8
面白い話を聞いた時、見た時	310	5	1.6	22	7.1	101	32.6	182	58.7
家族と一緒にいる時	297	41	13.8	59	19.9	112	37.7	85	28.6
親しい友人や恋人と一緒にいる時	304	18	5.9	43	14.1	100	32.9	143	47.0
仕事をしている時	307	50	16.3	103	33.6	105	34.2	49	16.0
働いた賃金をもらった時	307	42	13.7	72	23.5	115	37.5	78	25.4
何かがうまくいった時	307	25	8.1	37	12.1	120	39.1	125	40.7
自分を肯定できた時	304	36	11.8	57	18.8	124	40.8	87	28.6
人から褒められた時	308	27	8.8	36	11.7	125	40.6	120	39.0
プレゼントを貰った時	309	16	5.2	38	12.3	125	40.5	130	42.1

表 8 事業所の支援の中で効果が期待できる支援内容に関する質問への回答

項目	回答者数		期待できない		あまり期待できない		やや期待できる		期待できる	
	n		n	%	n	%	n	%	n	%
出勤時間を、体調にあわせて変更する	302		31	10.3	42	13.9	121	40.1	108	35.8
休憩スペース等を事業所内に設け、一人になれる場所を作る	301		33	11.0	66	21.9	113	37.5	89	29.6
作業時間が長時間とならないように適宜、休憩を入れる	302		15	5.0	32	10.6	127	42.1	128	42.4
利用者の家族やキーパーソンによる協力を得る	298		35	11.7	57	19.1	116	38.9	90	30.2
作業の速さと量を、体調にあわせて調整する	304		16	5.3	32	10.5	134	44.1	122	40.1
タイミングを見計らって、コミュニケーションをとる	304		21	6.9	36	11.8	137	45.1	110	36.2
利用者と支援者が、一緒に作業を行う	304		21	6.9	37	12.2	118	38.8	128	42.1
寛容で協力的な職場風土を作る	301		23	7.6	37	12.3	118	39.2	123	40.9

表9 働きがいを感じる時に関する質問への回答

	回答者数	感じない		あまり感じない		やや感じる		感じる	
	n	n	%	n	%	n	%	n	%
誰かの役に立っていると感じる時	317	10	3.2	24	7.6	108	34.1	175	55.2
仕事楽しい時	317	11	3.5	18	5.7	98	30.9	190	59.9
体調が良い時	315	11	3.5	23	7.3	121	38.4	160	50.8
収入を多く得た時	316	8	2.5	15	4.8	86	27.2	207	65.5
仕事を褒められた時	316	9	2.9	21	6.7	92	29.1	194	61.4
仕事以外で何かを褒められた時	314	13	4.1	41	13.1	134	42.7	126	40.1
マイペースで仕事できた時	316	8	2.5	28	8.9	135	42.7	145	45.9
人間関係がうまくいっている時	318	12	3.8	24	7.6	115	36.2	167	52.5
作業に没頭している時	317	9	2.8	21	6.6	121	38.2	166	52.4
仕事以外の趣味や余暇活動が充実している時	317	14	4.4	41	12.93	116	36.6	146	46.1

表 10 仕事以外で希望することに関する質問への回答

項目	回答者数	満ち足りている		全く希望しない		あまり希望しない		やや希望する		とても希望する	
	n	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
恋愛したい	313	38	12.1	63	20.1	75	24.0	63.0	20.1	74	23.6
運動・スポーツでもっと体を動かしたい	316	19	6.0	26	8.2	83	26.3	110.0	34.8	78	24.7
なんでも話せる人にそばにいて欲しい	316	28	8.9	20	6.3	45	14.2	112.0	35.4	111	35.1
趣味や特技をもっと身につけたい	312	21	6.7	16	5.1	46	14.7	110.0	35.3	119	38.1
一人でも楽しめる方法を知りたい	317	45	14.2	20	6.3	52	16.4	101.0	31.9	99	31.2
もっと色々なことを勉強したい	316	9	2.9	15	4.8	68	21.5	113.0	35.8	111	35.1
自然に触れるような旅をしたい	316	11	3.5	40	12.7	66	20.9	105.0	33.2	94	29.8
偏見なくふつうに自然に接して欲しい	313	31	9.9	20	6.4	34	10.9	115.0	36.7	113	36.1
好きなだけ寝ていたい	316	29	9.2	54	17.1	73	23.1	90.0	28.5	70	22.2
オシャレをして外に出かけたい	317	26	8.2	44	13.88	82	25.9	90.0	28.4	75	23.7

表 11 特定の支援内容とその支援を希望する程度に関する質問への回答

項目	回答者数	全く希望しない		あまり希望しない		やや希望する		とても希望する	
	n	n	%	n	%	n	%	n	%
いつでもできる電話相談	318	46	14.5	85	26.7	105.0	33.0	82	25.8
音楽療法	316	47	14.9	87	27.5	121.0	38.3	61	19.3
スポーツ・レクリエーション療法	315	44	14.0	90	28.6	104.0	33.0	77	24.4
恋愛相談	317	108	34.1	104	32.8	65.0	20.5	40	12.6
人生相談	319	51	16.0	69	21.6	104.0	32.6	95	29.8
一般雇用支援	316	66	20.9	62	19.6	93.0	29.4	95	30.1
大学以上での高等教育支援	316	110	34.8	116	36.7	56.0	17.7	34	10.8
芸術療法	314	86	27.4	103	32.8	76.0	24.2	49	15.6
経済支援	316	43	13.6	57	18.0	102.0	32.3	114	36.1
家族支援	314	59	18.79	67	21.3	106.0	33.8	82	26.1

表 12 日常的な活動に関連する質問への回答

項目	活動の重要度					支援者との活動日数（過去30日間）												活動の頻度									
	回答者数	はい		いいえ		回答者数	0日		1～5日		6～10日		11～15日		16～20日		21～29日		30日		回答者数	十分		不十分		やりすぎ	
		n	%	n	%		n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%		n	%	n	%	n	%
楽しみを兼ねてスーパー、コンビニ、ショッピングセンター、デパート、他の小売店、バザー等に行く。	281	237	84.3	44	15.7	273	42	15.4	90	33.0	49.0	18.0	25	9.2	22	8.1	11	4.0	34	12.5	283	218	77.0	47	16.6	18	6.4
食堂、レストランやカフェに行く。	276	169	61.2	107	38.8	268	138	51.5	104	38.8	15.0	5.6	4	1.5	1	0.4	2	0.8	4	1.5	271	170	62.7	97	35.8	4	1.5
教会、神社、お寺等に行く。	267	97	36.3	170	63.7	268	194	72.4	70	26.1	4.0	1.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	263	176	66.9	83	31.6	4	1.5
映画を見に行く。	271	104	38.4	167	61.6	267	232	86.9	34	12.7	1.0	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	266	143	53.8	122	45.9	1	0.4
公園やスポーツセンターへ行く。	272	120	44.1	152	55.9	266	209	78.6	47	17.7	5.0	1.9	3	1.1	1	0.4	0	0.0	1	0.4	266	140	52.6	124	46.6	2	0.8
演劇もしくは他の文化的イベントに行く。	271	94	34.7	177	65.3	266	251	94.4	14	5.3	1.0	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	266	144	54.1	121	45.5	1	0.4
動物園、植物園に行く。	270	86	31.9	184	68.2	266	255	95.9	10	3.8	1.0	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	264	138	52.3	123	46.6	3	1.1
図書館や博物館に行く。	271	117	43.2	154	56.8	268	213	79.5	48	17.9	4.0	1.5	1	0.4	1	0.4	1	0.4	0	0.0	261	149	57.1	108	41.4	4	1.5
スポーツイベントを見に行く。	267	65	24.3	202	75.7	266	258	97.0	7	2.6	1.0	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	262	153	58.4	106	40.5	3	1.2
フィットネスジム、健康・運動クラブ、で体を動かすに行く。	270	97	35.9	173	64.1	265	250	94.3	11	4.2	4.0	1.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	264	142	53.8	121	45.8	1	0.4
チームの一員としてスポーツ大会や他の集団身体活動に参加する。	269	68	25.3	201	74.7	266	253	95.1	13	4.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	263	144	54.8	117	44.5	2	0.8
将棋やトランプ、オンラインゲーム等を自宅外、例えば友人宅等でする。	267	71	26.6	196	73.4	267	232	86.9	25	9.4	6	2.3	1	0.4	1	0.4	1	0.4	1	0.4	263	156	59.3	101	38.4	6	2.3
自宅で将棋、トランプ、オンラインゲーム等をする。	265	87	32.8	178	67.2	263	197	74.9	32	12.2	4	1.5	8	3.0	0	0.0	1	0.4	21	8.0	262	160	61.1	90	34.4	12	4.6
気分転換を兼ねて理容室、美容室、ネイルサロン、スパに行く。	270	153	56.7	117	43.3	267	148	55.4	119	44.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	266	182	68.4	82	30.8	2	0.8
公共交通機関を使う。	268	176	65.7	92	34.3	265	118	44.5	81	30.6	22	8.3	14	5.3	20	7.6	3	1.1	7	2.6	269	192	71.4	75	27.9	2	0.7
地域のサークルに参加する。	265	89	33.6	176	66.4	261	242	92.7	18	6.9	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	259	150	57.9	108	41.7	1	0.4
賃金の支払われる仕事をする。	271	228	84.1	43	15.9	265	64	24.2	31	11.7	24	9.1	51	19.3	65	24.5	25	9.4	5	1.9	270	190	70.4	76	28.2	4	1.5
ボランティア活動に参加する。	269	92	34.2	177	65.8	267	255	95.5	9	3.4	3	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	261	139	53.3	118	45.2	4	1.5
学位や資格取得のために学校に行く。	262	77	29.4	185	70.6	263	254	96.6	7	2.7	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0	1	0.4	259	132	51.0	125	48.3	2	0.8
余暇や日常生活活動に関連したクラスに参加する。	264	88	33.3	176	66.7	262	244	93.1	17	6.5	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	260	130	50.0	129	49.6	1	0.4
地域で行われる集まり、イベントやお祝いに家族と参加する。	264	85	32.2	179	67.8	263	244	92.8	19	7.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	259	144	55.6	111	42.9	4	1.5
地域で行われる集まり、イベントやお祝いに友人と参加する。	263	88	33.5	175	66.5	265	252	95.1	13	4.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	261	142	54.4	115	44.1	4	1.5
家族を自宅に招待する、もしくは家族を訪ねる。	256	127	49.6	129	50.4	257	191	74.3	59	23.0	2	0.8	1	0.4	1	0.4	0	0.0	3	1.2	252	160	63.5	88	34.9	4	1.6
友人を自宅に招待する、もしくは友人宅を訪ねる。	265	125	47.2	140	52.8	262	210	80.2	42	16.0	4	1.5	3	1.2	0	0.0	1	0.4	2	0.8	260	140	53.9	114	43.9	6	2.3
学校や仕事、ご近所さんや他の知り合いと会う。	262	110	42.0	152	58.0	261	218	83.5	32	12.3	3	1.2	3	1.2	3	1.2	1	0.4	1	0.4	260	140	53.9	116	44.6	4	1.5
地域住民会、地域清掃日、他の地域イベント等に参加する。	264	77	29.2	187	70.8	263	244	92.8	18	6.8	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	260	146	56.2	111	42.7	3	1.2
市民活動や政治活動・団体に参加する。	264	51	19.3	213	80.7	262	256	97.7	6	2.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	256	155	60.6	98	38.3	3	1.2

表 13 型事業所における働きがいと経済的な状況の関連：単変量解析

		B型事業所における働きがい								検定	
		ない		あまりない		少しある		ある		x2	P
		n	%	n	%	n	%	n	%		
工賃への感想	少な過ぎる	7	13.7	5	9.8	20	39.2	19	37.3	37.011	<0.001
	少ない	4	3.1	14	10.9	52	40.6	58	45.3		
	ふつう	4	3.1	13	10.2	44	34.4	67	52.3		
	多い	0	0.0	1	7.1	2	14.3	11	78.6		
	多過ぎる	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
月額工賃	5,000 円未満	4	6.5	10	16.1	26	41.9	22	35.5	21.274	0.442
	5,000～10,000 円未満	2	3.0	8	12.1	19	28.8	37	56.1		
	10,000～15,000 円未満	4	6.0	4	6.0	23	34.3	36	53.7		
	15,000～20,000 円未満	3	7.0	6	14.0	15	34.9	19	44.2		
	20,000～25,000 円未満	1	3.9	1	3.9	13	50.0	11	42.3		
	25,000～30,000 円未満	0	0.0	2	9.5	5	23.8	14	66.7		
	30,000～45,000 円未満	1	4.6	1	4.6	12	54.6	8	36.4		
	45,000 円以上	0	0.0	1	7.7	4	30.8	8	61.5		
総収入に対する感想	全く足りない	9	13.0	7	10.1	28	40.6	25	36.2	28.079	0.001
	あまり足りない	2	1.9	13	12.0	45	41.7	48	44.4		
	やや足りている	1	1.2	9	11.1	32	39.5	39	48.2		
	足りている	3	4.8	4	6.5	13	21.0	42	67.7		
自由に使えるお金	0 円	5	45.5	1	9.1	1	9.1	4	36.4	72.294	<0.001
	0～5,000 円未満	0	0.0	7	20.6	11	32.4	16	47.1		
	5,000～10,000 円未満	1	2.2	4	8.9	20	44.4	20	44.4		
	10,000～15,000 円未満	2	3.2	3	4.8	27	43.6	30	48.4		
	15,000～20,000 円未満	2	6.1	6	18.2	5	15.2	20	60.6		
	20,000～25,000 円未満	2	4.2	6	12.5	20	41.7	20	41.7		
	25,000～30,000 円未満	0	0.0	4	11.4	12	34.3	19	54.3		
	30,000～45,000 円未満	1	3.9	0	0.0	10	38.5	15	57.7		
	45,000～100,000 円未満	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0		
	100,000 円以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0		

表 14 事業所における働きがいと経済的な状況の関連：多変量解析<sup>1</sup>

n = 288	B	95%信頼区間		P
		下限	上限	
工賃額（月当たり）	0.014	-0.039	0.068	0.598
工賃への感想 <sup>2</sup>	0.061	-0.064	0.185	0.339
総収入の経済的な充足感 <sup>3</sup>	0.140	0.044	0.236	0.004
自由に使えるお金（月当たり）	0.035	-0.013	0.084	0.156
事業所利用日数	0.047	-0.020	0.114	0.171
性別	0.174	-0.013	0.360	0.068
年齢	-0.017	-0.091	0.057	0.658

1. 働きがい：「1=ない」「2=あまりない」「3=少しはある」「4=ある」

2. 工賃への感想：「1=少な過ぎる」「2=少ない」「3=ふつう」「4=多い」「5=多過ぎる」

3. 総収入の経済的な充足感：「1=全く足りない」「2=あまり足りない」「3=やや足りている」「4=足りている」

表 15 総収入の経済的な充足感とステップアップ等との関連

		総収入の経済的な充足感								検定	
		<u>全く足りない</u>		<u>あまり足りない</u>		<u>やや足りている</u>		<u>足りている</u>			
		n	%	n	%	n	%	n	%		
A型事業所、就労 移行支援事業所、 一般雇用へのステ ップアップ	希望しない	13	13.7	25	26.3	30	31.6	27	28.4	18.074	0.034
	あまり希望しない	8	16.7	20	41.7	13	27.1	7	14.6		
	やや希望する	19	23.5	29	35.8	20	24.7	13	16.1		
	希望する	26	31.7	27	32.9	15	18.3	14	17.1		
一般企業での就職 に対する関心	全くない	8	13.6	15	25.4	15	25.4	21	35.6	35.600	<0.001
	あまりない	4	6.0	24	35.8	24	35.8	15	22.4		
	ややある	29	25.9	39	34.8	29	25.9	15	13.4		
	とてもある	25	36.2	24	34.8	10	14.5	10	14.5		
最低賃金以上での 仕事に対する関心	全くない	5	13.9	10	27.8	9	25.0	12	33.3	30.836	<0.001
	あまりない	6	9.4	23	35.9	17	26.6	18	28.1		
	ややある	24	19.2	46	36.8	38	30.4	17	13.6		
	とてもある	32	39.0	22	26.8	14	17.1	14	17.1		